（様式2）

令和7年度　施設指定管理者
モニタリングレポート（年次評価報告書）

施　設　名	**中央児童館**
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和9年　3月　31日　（3期1年目）
所　管　課	子育て支援課

1　業務履行の確認・評価

	年次評価
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	A

【施設の運営に関する基本的事項】
配置基準を満たす人員体制を維持し、緊急時対応訓練や事故対応マニュアルを整備するなど、安定運営に努めている。本部支援を十分活用し、職員間の連携を図り、館長不在時でも業務は適正に履行されている。

【自主事業に関する事項】
ドッジボールクラブ活動、児童館まつり等を計画的に実施している。人員体制を確保するとともに、統一マニュアルに基づく事故対応を行い、各事業を着実に実施し、業務は適切に履行されている。

【施設の維持管理業務に関する事項】
館内の安全点検や衛生管理を適切に行い、設備や備品を適切に管理し、施設環境を良好に維持している。

2　サービスの質に関する評価

	年次評価
提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	A

【利用者アンケート（満足度調査）に関する事項】

＜調査の概要＞

・令和8年1～2月に利用者アンケートを実施。

＜調査結果の概要＞

職員の対応、児童館の楽しさ、職員とのコミュニケーション、施設の利用しやすさ、環境の好ましさ、清掃状況において高い満足度が示されている。困っている際の職員の声かけや子どもの楽しそうな様子も肯定的に評価されている。

【自主事業に関する事項】
利用者の興味や関心を踏まえた事業展開を図っている。パステルアートなどアンケートの意見を反映した企画に加え、施設間連携も進め、事業内容の充実とサービス水準の向上が図られている。

【サービス水準や利用環境に関する事項】
利用者アンケートを踏まえた対応や、初めて利用する子どもへの丁寧な見守りなど、利用者に配慮した対応をとっている。事故時には保護者へ連絡するなど、安全・安心な利用環境の確保が図られている。

3　サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価 A

【施設の収支状況に関する事項】
・指定管理料（令和7年度決算額15,416,000円）の中で、事業収支は黒字になっており、継続的にサービスを提供することができている。

【団体の経営状況に関する事項】　　中央・北部・南部・西部・ひまわり児童館　共通事項
（株）日本保育サービスの経営状況の分析

・第22期（2025年4月1日～2026年3月31日）の損益計算書では、売上高は前期より増加している。

・営業利益、当期純利益金額ともに前期より増加している。

・貸借対照表の純資産合計からも財務内容は健全であり、この3年間において、売上高、当期純利益とも毎年向上しており、順調な経営状態であるといえる。

総合評価	A	【審査委員会コメント】 初めて行事に参加する子どもへの配慮や事故発生時の保護者への丁寧な連絡など、経験に裏打ちされたきめ細かな対応により、利用者との信頼関係を築いている。また、継続的な見守りや配慮を必要とする子どもの悩みや不安にも丁寧に向き合い、市との情報共有を図りながら継続的な支援につなげている。その結果、当該児童の継続的な利用が確保され、相談機関等とのつながりの維持にもつながっている点は評価できる。不審者対応や地震等の実践的な訓練、法人統一マニュアルの整備など、安全・安心な利用環境の確保にも努めている。館長不在時も職員間の応援やエリアマネージャー等の支援を活用し、安定した運営を維持した。さらに、アンケートを事業に反映するとともに、老人福祉センターとの交流や5館合同事業、日誌共有等の横連携を進め、利便性とサービスの向上につなげていると評価できる。

【年次評価】　　（評価基準）
- S（優　良）：区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良　好）：区分評価が全てA以上。
- B（課題あり）：区分評価にBがあった。
- C（要改善）：区分評価にCがあった。

【総合評価】　　（評価基準）
- S（優　良）：市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A（良　好）：市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B（課題あり）：サービスの内容の一部に課題がある。
- C（要改善）：サービスの内容に改善が必要である。